

# わたしの議会。



1月6日に開催された鳥羽市消防出初め式の様子。

鳥羽市議会各種SNS



## とば市議会だより 目次

常任委員会報告……………	2～3	TOBAミライトーク実施報告 ……	9
議員別表決結果……………	3	きらり輝く人達……………	10
一般質問……………	4～9		

令和5年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号)ほか、鳥羽市職員給与条例の一部改正についてなど、執行部提案議案14件を審議しました。

### 常任委員会報告

●各常任委員会に14議案が付託されました。

#### 行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第37号 鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について

〈主な内容〉

- ・出産を予定する被保険者(又は出産した被保険者)の所得割及び均等割について、出産予定日(又は出産日)が属する月の前月から4月間(多胎妊娠の場合は、出産予定日(又は出産日)が属する月の3月前から6月間)を免除する規定を加える。
- ・施行期日:令和6年1月1日

問 11月中に出生された方に対する周知はどのようにするのか。

答 11月1日以降に出産された方については、条例が施行され次第、個別で周知させていただきたい。また、現在妊娠中の方や、出生予定の方に関しては、まず妊娠した段階で健康係の方でリーフレット等を配布していただくよう依頼をかけたいと思っている。また、広報1月号でも周知を図りたいと考えている。なお、転入者に関しても漏れないように対応していきたい。

#### ▼単胎、多胎の区分別の免除期間

			前1月		後1月	後2月	
単胎の場合			産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	
↑ 出産予定日(出産後申請の場合は出産日)							
	前3月	前2月	前1月		後1月	後2月	
多胎の場合	産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	産前産後 免除期間	
↑ 出産予定日(出産後申請の場合は出産日)							

#### 予算決算常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第25号 令和5年度 鳥羽市一般会計補正予算(第6号)

〈主な補正予算の内容と質疑応答〉

- ・多様な旅行者の受入推進事業(フランスにおいて、本市の知名度向上と観光誘客を図るため、海藻や漁業等を通して、世界に誇る海女文化や鳥羽うみ文化のプロモーションを実施する費用を補正)

…303万円

問 今回のプロモーションで力を入れているものは何か。

答 海女文化はもちろん、海洋研究機関や海洋研究者が多く参画しているため、鳥羽の海藻や海洋研究をPRし、研究者らとのつながりを作りたい。



令和4年11月に大野愛子氏がセツト市で写真展を開催したことがフランス現地の新聞で取り上げられた

議案第36号 令和5年度 鳥羽市一般会計補正予算(第7号)

〈主な補正予算の内容と質疑応答〉

- 低所得世帯等支援給付金給付事業(物価高騰等に直面する低所得世帯を支援することを目的に、低所得世帯支援給付金を追加給付するための費用を補正)

…1億8000万円

**問** 今回は非課税世帯が対象であるが、対象者を広げることには考えなかったのか。

**答** 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の低所得世帯支援枠を活用することから、国が指定している非課税世帯を対象としている。

**問** 減税対象者や非課税者とならなかった間の世帯への支援についてはどのように考えているのか。

**答** 国の方でも間の世帯への支援を検討しており、12月中に方針が決まる予定である。国の動向をみて検討したい。

令和5年11月29日～12月18日会議

議員別表決結果

○：賛成 ×：反対  
-：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	世古雅人	山本欽久	中村浩二	瀬崎伸一	南川則之	濱口正久	山本哲也	河村孝	戸上健	木下順一	坂倉広子	尾崎幹	世古安秀	
25	令和5年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号)	12月18日	可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
26	令和5年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
27	令和5年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
28	令和5年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
29	令和5年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
30	令和5年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
31	令和5年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
32	鳥羽市職員給与と条例の一部改正について		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
33	鳥羽市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正について		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
34	鳥羽市火災予防条例の一部改正について		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
35	指定管理者の指定について(鳥羽市立長岡診療所)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
36	令和5年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
37	鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
38	鳥羽市手数料徴収条例の一部改正について		可決	○	○	-	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

議長につき表決なし

これが知りたい・ここが聞きたい

# 一般質問



12月5日～12月7日に10人の議員が一般質問を行いました。  
質問と答弁の概要をお知らせします。



※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

各議員の動画はこちらからご覧いただけます↑

日程	議員氏名	項目
12月5日(火)	みなみがわのりゆき 南川則之	鳥羽市立海の博物館の保存活用について 旧鳥羽小学校の保存活用について
	とがみ けん 戸上 健	観光振興策の基本点について 「地球沸騰化」時代に抗する地方自治体の取り組みについて 新年度予算編成の基本姿勢と人口減対策について
	やまもとよしひさ 山本欽久	救急搬送を含めた地域医療について
	せこまさひと 世古雅人	人口減少が進む中での市民目線の施策事業の実施について
12月6日(水)	せさきしんいち 瀬崎伸一	気象変化が激甚化する中での「治水」について
	おざき みき 尾崎 幹	鳥羽市空家等対策計画について
	せこ やすひで 世古安秀	鳥羽市の地籍調査事業の推進について 鳥羽市堅神火葬場の高台移転について
12月7日(木)	さかくらひろこ 坂倉広子	インフルエンザ・おたふく風邪・带状疱疹に対する市の感染対策について 日常と非常時の壁をなくす新しい取組である「フェーズフリー」について
	やまもとてつや 山本哲也	鳥羽市の水産業の現状と支援の取り組みについて
	はまぐちまさひさ 濱口正久	「超・人手不足時代」の人材確保について

## 旧鳥羽小学校の 保存活用の進捗は

市長

周辺のまちづくりとも  
整合性を取りながら活  
用していきたい

**問** 旧鳥羽小学校を保存するため、こ  
れまで外構工事、耐震化工事に約  
9700万円かかっています。今後、  
保存活用をどのように進捗させて  
いく考えなのか、また、鳥羽城や九  
鬼氏などの歴史について早急に資  
料収集と準備を進めて、公開してい  
くべきと考えますがどうですか。

**答** 教育長 この旧校舎は国の登録有  
形文化財で、これを保存していくこ  
とは第一の使命だと思っています。  
6年後、旧鳥羽小学校100周年  
ですので、保存活用については歴史・  
文化と絡めてしっかりと活用を考  
えていきます。  
**答** 市長 できることから活用を進  
めていき、周辺のまちづくりとも整  
合性を取りながら活用していきたい  
と思っています。

## 鳥羽市立海の博物館の 長寿命化計画は



旧鳥羽小学校校舎保存活用計画

市長

**問** しっかりと長寿命化をしていきたく  
海の博物館は、30年間大規模なメ  
ンテナンスをやっていないというこ  
とで、建築物も悲鳴を上げている状  
況です。長寿命化に関し早急に実  
施すべきものは現行の大規模ハー  
ド整備と並行して、来年度予算か  
ら進めていくべきと考えますがどう  
ですか。

**答** 市長 海の博物館は、建築家の内藤  
廣さんの出世作だということコン  
セプトを崩さないように、しっかりと  
と長寿命化をしていきたいというこ  
とで担当課長にも指示しています。



みなみがわのりゆき  
南川則之



# TOBAゼロカーボン・チャレンジ 2050はどうなっているか



とがみけん  
戸上 健

環境課長

## 鳥羽市ゼロカーボンシ ティ推進計画の策定に 取りかかっている

**問** TOBAゼロカーボン・チャレンジ2050を宣言しました。新たな対応策と進展状況、推進計画はどうなっていますか。

**答** 環境課長 鳥羽市ゼロカーボンシティ推進計画の策定に取りかかっており、年度内には完成する予定です。また、来年度に地球温暖化対策実行計画を策定します。その計画により今後の進捗を図っていきます。

**問** ブルーカーボンの取組の進展状況を教えてください。

**答** 農林水産課長 ブルーカーボンにおいて重要となる天然の藻場が繁茂している位置とその種類、体積等を機械的に算出する仕組みの構築にまず取り組んでいます。また、黒ノリやワカメなど藻類の養殖におけるブルーカーボンの活用を鳥羽磯部漁業協同組合と連携して検討を進めており、脱炭素社会に向けて、漁業者のみならず、地域や子

供たちも参画した環境再生活動のさらなる広がりを目指しているところでです。



気象庁が公開している「2100年 未来の天気予報」

## 家庭への教育費軽減等に 踏み出していきたい

市長

**問** 持続可能かどうか見極めて検討していきたい

**答** 新年度予算で家庭への教育費軽減、学校給食無償化に一步、踏み出していただきたい。

**市長** 決して経済的負担軽減策を否定するものではありませんが、持続可能かどうかを見極めながら新年度予算については検討していきたいと思えます。

# 離島における救急艇も 含めた搬送方法は



やまもとよしひさ  
山本 欽久

市長

## 実情に見合った搬送方 法を検討していきたい

**問** 離島における救急搬送は現状、支え合いによって成立しています。全国的にも増加傾向にある救急搬送は、離島においても例外ではありません。島民の安心安全を担保するために、救急艇を含めた搬送方法について、市長の考えをお伺いします。

**答** 市長 建造に係る費用や維持管理、天候の問題、操船に伴う人材育成をはじめ人員体制の構築など、たくさん検討すべき課題があります。今後、各離島の地域医療との連携や消防団、各町内会の現状を鑑み、実情に見合った搬送方法について検討を進めていきたいと考えています。

**問** 地域医療は、離島においてはオンライン診療を、本土においては移動診療車の活用を進めてきてはいますが、医師や看護師の不足、診療所の閉鎖や利用者の減少など課題も多いです。地域医療の今後について、市長の考えをお伺いします。



岡山県笠岡市の救急艇みすけ

**答** 市長 将来の世代に大きな負担を残してはいけなく考えています。また、施設や仕組みなどをコンパクトにしていくことは避けられないと考えています。一方で、必要不可欠な医療については新たな工夫もしながら地域の診療機会を確保していきたいと思えます。

## 人口減少を抑制する 対策に取り組む考えは



せこまさひと  
世古雅人

市長

市の人口減少を抑制することにはこれまでも取り組んできている

問 鳥羽市も人口が減り続け、本年9

月末で1万7千人以下になりました。若者に目を向けた取組みをしていかないと人口減少が加速してしまうのではないのでしょうか。三重県

は昨年4月、新たに人口減少対策課を設けて移住・定住、子育て支援に力を入れています。市長は、これまで人口減少対策には消極的でしたが、人口減少を抑制する対策に取り組む考えはありますか。

答 市長 市の人口減少を抑制することは、重要だと考え、これまでも取り組んできています。新入生応援金など4千3百万円程の事業を行っており、以前廃止されて減少した分より上回っていることになりました。

問 鳥羽市の若者に対する継続的な市の支援が減っていると思います。南伊勢町では、結婚祝金や移住・定住策、給食の無償化など1億2千万円程度、志摩市は1億8千万円程

度の支援で、かなりの移住・定住策に取り組んでいます。個々の事業を比較すると、鳥羽市の取組みは他市から見ると劣っているように思います。

答 市長 人口減少の抑制については、あきらめているわけではありません。よそには負けないだけの移住・定住策や、子育て支援はしていると思っています。



## 紙漉川を含めた市内 の河川において、堆積土砂の撤去を計画的に進める事を検討している



せきまさひと  
瀬崎伸一

副市長

かみすきがわ  
紙漉川を含めた市内の河川において、堆積土砂の撤去を計画的に進める事を検討している

問 改修が必要になった道路側溝から、大雨を考慮した整備はできませんか。

答 副市長 道路側溝には宅地他からも水が入る為、余裕を出して入れていく事になっています。古い排水で駄目なものがあれば、そういうものに換えていく事は可能です。

問 加茂川が度々越水を起こしている現状について、どうすべきだとお考えですか。

答 副市長 加茂川上流部には、指摘のように、度々越水し、道路や田畑にも被害が出ているので、上流部についても河川改修を実施する要望を三重県に対して行っています。

問 紙漉川の県管理部と市管理部に、大きく管理の差が出ている状況をごのようにお考えですか。

答 副市長 河川は上流、下流を一体で

考えていくべきものですので、今後は紙漉川を含めた市内の河川において、堆積土砂の撤去を計画的に進める事を検討しています。

問 現場に最も近い鳥羽市がインシニアプを取り、三重県国と強固なタッグで臨む事が必要ではないでしょうか。

答 市長 三重県志摩建設事務所管内において、令和3年度より、地域の特性に応じ、ハード、ソフト一体で、多層的に進めていく「流域治水プロジェクト」を県が策定し、それぞれの管理者が連携して進めています。



大雨の際には越水が危惧される紙漉川(市管理)の現況

## 鳥羽市として具体的な グランドデザインはあるか



お ぎ さ き  
み き  
尾 崎 幹

市長

### 描いているものはある

**問** 三重県作成の鳥羽都市計画区域マスタープランには、空き家の集約・再編について検討を行うと明記されていますが、これを基に三重県と鳥羽市は協議をしましたか。

**答** 副市長 この件に特化して協議はしていません。

**問** 空家等対策特別措置法が一部改正されますが、特定空家は何軒ありますか。

**答** 副市長 特定空家に指定した住宅はございません。

**問** 鳥羽市空家等対策計画の策定から1年8ヶ月経過しています。解体が必要と判定され得る建物は増えていますか。

**答** 副市長 増加傾向にあると思います。最近でも数件、倒壊の危険が間近に迫った建物を緊急に対応しました。

**問** 鳥羽市に建築主事はいますか。

**答** 副市長 鳥羽市には建築主事はいません。

**問** 環境省の支援を利用したまちづくりについてどうお考えですか。



**答** 副市長 環境省の補助金については、生活環境に著しい影響を与えるもの、というふうな部分に特化され、何にでも使えるわけではないというふうな理解をしているところです。

**問** 住み続けられるまちにするためにも、鳥羽市として具体的なグランドデザインはありますか。

**答** 市長 総合計画やマスタープラン、佐田浜から岩崎のエリアなど、描いているものはあります。空家等対策特別措置法の一部改正の機会は、チャンスだと思っています。

## まちづくりのために 中心市街地の地籍調査は



せ こ や す ひ で  
世 古 安 秀

市長

### 中心市街地のまちづくりは重要な課題であり、関係各所と協議しながら進めていきたい

**問** 地籍調査事業について、現在の調査の進み具合をお尋ねします。

**答** 副市長 昭和62年度に安楽島地区から調査を開始し、鏡浦地区、長岡地区を順次行ってきました。令和4年度末時点の進捗率は36%です。再開発やまちづくり、防災の観点からも事業を拡大し、早急に中心市街地の地籍調査が必要と考えますが、市長の考えをお尋ねします。

**問** 現計画に基づき事業を進めていきます。ただし、中心市街地のまちづくりについては、市としても非常に重要な課題であり、関係各所と協議、協力しながら進めていきたいと思っています。



地籍調査事業  
実施区域図

### 堅神火葬場の高台移転を行う考えは

**問** 堅神火葬場の建設年月、をお伺いします。

**答** 環境課長 昭和62年3月となっています。

**問** 海抜はどれぐらいあり、津波の指定域に含まれていますか。

**答** 環境課長 海抜4メートルで、津波浸水指定域に指定されています。

**問** 津波の浸水も心配されることも含めて堅神火葬場の高台移転を行う考えはないですか。

**答** 市長 直ちに移転をすることは考えていません。どれだけニーズがあるか、ほかのまちとのバランス等も考えながら、必要となれば建て替えの時には高台へ移る必要があるかと思っています。



## インフルエンザ等の接種について助成の考えは



さかくらひろこ  
坂倉広子

市長

近隣自治体の動向も見ながら検討を進めていきたい

**問** 子供のインフルエンザ、おたふく風邪、帯状疱疹のワクチン接種について、市民の健康を守るために公的助成を行う考えはありますか。

**答** 健康福祉課副参事 おたふく風邪や帯状疱疹ワクチンの定期接種化については国において検討されているところであり、市としてはこうした動きを注視していきたいと考えています。

**問** インフルエンザやおたふく風邪、帯状疱疹のワクチン接種の助成をすることに、市長の考えをお伺いします。

**答** 市長 3種類のワクチン接種については、近隣自治体の動向も見ながら、公衆衛生上の必要性からも検討を進めていきたいと思えます。

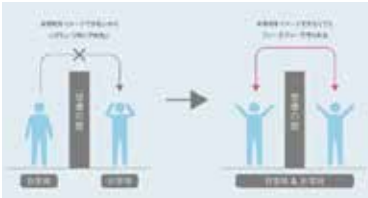
フェーズフリーを取り入れる考えは

市長

フェーズフリーの考え方は私も大賛成である

**問** 本市は、多岐にわたる公共施設を有しています。それらの施設を、建て替えや改修といったタイミングでフェーズフリーの考えを取り入れ、防災面にも配慮した設計、デザインとなるよう取り組んでいくという考えはありますか。

**答** 市長 市が保有する公共施設等の更新等のタイミングでは、フェーズフリーを含め様々な視点からこれまで以上に検討し、本来の目的を損なうことなく、より効果的で付加価値の高いものになるように進めていきたいというふうに思っています。フェーズフリーの考え方というのは私も大賛成です。



フェーズフリーの考え方

## 持続可能な漁業について市長の考えは



やまもとてつや  
山本哲也

市長

さまざまな人からアイデアや知恵を出していただき、行政もできる限りの支援をしていきたい

**問** 鳥羽市の漁業生産額はどのようになっていますか。

**答** 農林水産課長 市内全体の漁業生産額としては、令和4年が約33億9000万円。その5年前の平成30年は約51億5000万円でしたので、約17億6000万円の減となっています。

**問** 磯焼けについて、今後考えている取組などがありましたらお聞かせください。

**答** 農林水産課長 市内でも進行しつつある磯焼けに対して藻場が残っている間に維持、保全の活動を行うことが重要であると考えています。そのため、他県で成果が出ている魚の食害対策等の事業を今後実証的に実施していければと考えています。これまでの市長の取組についてお聞かせください。

**答** 市長 今年の8月には三重県市長会を通じて三重県に対して漁環境の変化への対応について要望書を提出しました。また、宮川ダムの流域8市町と連携し、宮川ダムの放流量を増やしてほしいという要望書を、知事のほうに提出しました。

**問** 持続可能な漁業について市長の考えをお聞かせください。

**答** 市長 漁業者に限らず様々な人からアイデアや知恵を出していただき、行政もそういった取組にできる限りの支援をしていきたいと考えています。



藻場の食害の状況



# 離職率の低下に 必要なことは何か

観光商工課長

## 働く環境の良さが 必要である

**問** 鳥羽市の漁業と観光業における雇用の現状と課題は何ですか。

**答** 観光商工課長 いずれの産業においても人手不足や後継者不足が課題となっています。観光業者へのヒアリングでは、人を雇っても辞めていく、常に求人を出している状況というところをお聞きしています。

**問** 離職率の低下に必要と考えられる事は何でしょうか。

**答** 観光商工課長 働く環境の良さが必要だと考えられます。

**問** 市役所の今後の人材確保に必要と考えられる事は何ですか。

**答** 総務課長 現状の社会情勢を踏まえ、多様化・高度化する行政需要に的確に対応していくためには、業務量など可能な限り事務の効率化を図るとともに、職員が働きやすい職場環境の整備など、ワーク・ライフ・バランスの実現を進めることや、職員の資質向上にむけた専門研修や新人教育など、職員の人材育成にも注力していく必要があると考えています。

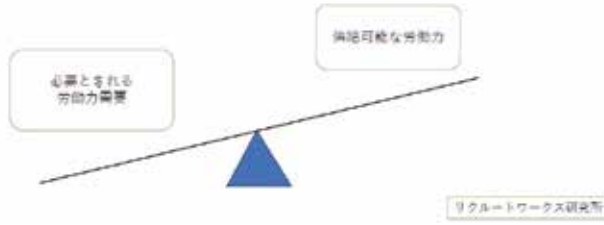
す。さらに、新たな人材の確保については、魅力ある施策を展開するとともに、職員として働く意欲を掻き立てるような事業を展開することも大切であると思っています。これらを通じて、職員が働きやすい環境、能力が発揮できる環境を整えることが、職場の流出防止や人材確保にもつながると考えています。



はまぐちまさひさ  
濱口正久

### 人手の将来予測 (日本全国)

- ・ 2030 (341万人不足)
- ・ 2040 (1,100万人不足)



## TOBAミライトーク

11月に2件のTOBAミライトークを実施しました。



### 鳥羽旅館組合 女将あこや会

**実施日** 11月8日(水)  
**テーマ** ③産業振興・雇用  
⑤環境・まちづくり ⑦その他

**参加人数** 5人  
広報広聴委員会で協議、報告しました。  
当日出された意見は議員活動の参考といたします。

### 鳥羽商工会議所

**実施日** 11月14日(火)  
**テーマ** ③産業振興・雇用  
⑤環境・まちづくり

**参加人数** 5人  
広報広聴委員会で協議、報告しました。  
当日出された意見については行政常任委員会で取り扱うこととなりました。



# きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽の人達にスポットをあてる企画です。

今回は、TOBA ミライトークを昨年 11 月に実施した鳥羽旅館組合女将あこや会さんにお話を伺いました。



## プロフィール

### 鳥羽旅館組合女将あこや会

会長 よしだきぬえ 吉田絹江さん 副会長 はさまゆうこ 迫間優子さん  
てらだ 寺田まりさん なか 中かほるさん  
 事務局 きのしたかおり 木下香織さん

鳥羽旅館組合の女将で結成されている「女将あこや会」では、伝統文化の継承としてお屠蘇づくりやもち花作りなどの活動に加え、「OKAMI (女将)」を世界に通用する言葉にしようとするさまざまな取り組みをしている団体です。

「これまでTOBAミライトークを7回実施していただけていますが、申し込みの経緯や理由について教えてください。」

鳥羽市議会と定期的にミライトークを実施することで、その時々々の現状や課題を共有するとともに、その方策についての意見交換を行っています。議会と行政、団体や市民がそれぞれの役割を担いながら連携を図り、まちづくりに取り組むことで、今後の鳥羽の一層の活性化につなげていければと考えています。

「鳥羽市議会に期待することは何ですか。」

要望、陳情の国や県への働きかけや、鳥羽市行政と市民の架け橋となって、観光地鳥羽のさらなる活性化を目指していただきたいです。ミライトークは、市民が行政に関心をもてる素晴らしい制度と思いますので、いろいろな団体と意見交換を活発に開催してほしいです。そして、たくさんのお客を誘客できるように、観光業の発展にご尽力をお願いいたします。

## 編集後記

明けましておめでとうございます。わたしの議会。(とば市議会だより) 第186号をお届けします。

市議会は、二元代表制として市の物事を決める決定機関としての重要な役割を担っています。その任務を果たすには市民の皆さんの意見を市政運営に反映していかねばなりません。そのためには、議会活動に関心を持っていただくことが重要と考え広報広聴のあり方や議会改革、所管事務調査などに取り組んでいます。皆さんに開かれた議会だと思ってもらえるよう頑張っていきますので、今後ともよろしくお願ひします。

世古雅人

### 広報広聴委員会

- 委員長 はまくちまさひさ 濱口正久
- 副委員長 やまもとよしひさ 山本欽久
- 委員 せこまさひと 世古雅人
- 委員 なかむらこうじ 中村浩二
- 委員 やまもとてつや 山本哲也
- 委員 かわむらたかし 河村孝
- 委員 さかくらひろこ 坂倉広子